

防コミの歩き方

BOSAI
KOBEMIRAI

「いつでもじゃぐち」をご存知ですか

子どもたちが夏休みを楽しんでいる中、灘区にある市立高羽小学校では応急給水栓、通称「いつでもじゃぐち」の設置工事がおこなわれました。

「いつでもじゃぐち」とは、現在水道局がおこなっている事業です。

災害時に被害を最小限にするため配水管の耐震化工事をおこなっており、そのシンボルとして配水池からの耐震化工事が完了した学校に設置しています。

それぞれの小学校の敷地内には、多人数が同時に使用できる蛇口などの資器材が保管されており、緊急時に組み立てて使用します。

平常時は子どもたちの水飲み場、災害時には水道が復旧するまでの間、市民が利用できる応急給水栓として使用します。

今年度神戸市では、5つの小学校で設置工事をおこない、灘区では市立美野丘小学校に続いて2番目に設置されました。

●防コミでの応急給水訓練

防災施設として普段から誰でも取扱いがで

きるように、11月28日高羽小学校において、地域住民と水道局東部センター、消防団、消防署が合同で応急給水訓練を実施しました。

組み立て自体、難しくはありませんが災害はいつ発生するかわからないため、誰かが組み立ててくれるだろうではなく、一人ひとりが率先してできるように今後も継続して、訓練を実施していく必要があります。

この「いつでもじゃぐち」を防災訓練で使用することにより、防災力の向上だけではなく、水道局が推進している、蛇口から水を飲む文化についても住民の方に広報することができます。

住民同士の交流も、防災力向上のためには大事な訓練のひとつです。

安全で安心な街を作っていくためにも、日頃から地域の防災訓練に参加していただくようよろしくお願いします。

(灘消防署 寺岡篤史)

